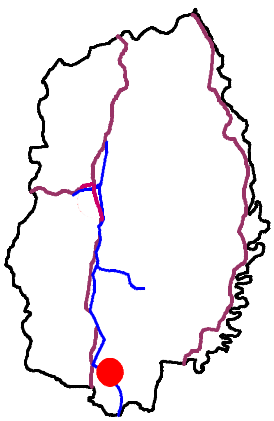
継続事業

事業名	北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業 （岩手県一関市）

事業着手：平成１８年度	完成・供用の目標年度：平成２２年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

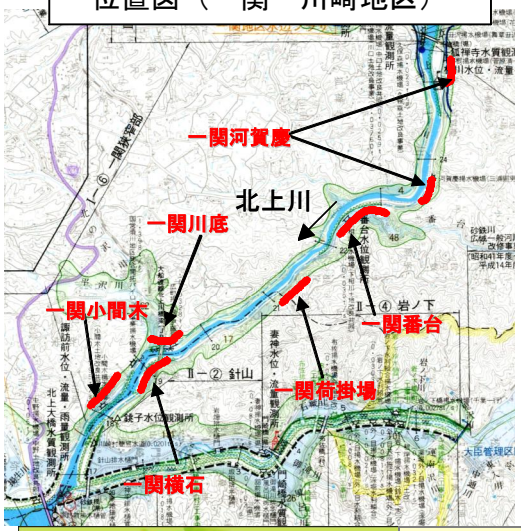
宮城県境から一関遊水地までの区間（約26km)は、背後に山々が迫り、川幅が狭い狭隘部となっているとともに、川沿いに集落が点在しています。

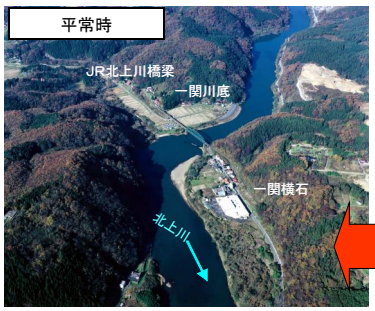
一方、平成10年8月洪水（浸水家屋19戸）、平成14年7月洪水（浸水家屋41戸）による浸水被害や生活道路の冠水などによる集落の孤立化が生じているなど、早急な治水対策が急務となっています。

「事業の概要」

狭隘部（約26km）のうち、上流の一関・川崎地区（一関遊水地～砂鉄川合流点）までの約10km区間において、平成21年度は輪中堤等の整備や家屋・用地の補償等を引き続き行います。また用地調査、測量設計も引き続き行います。

位置図（一関・川崎地区）

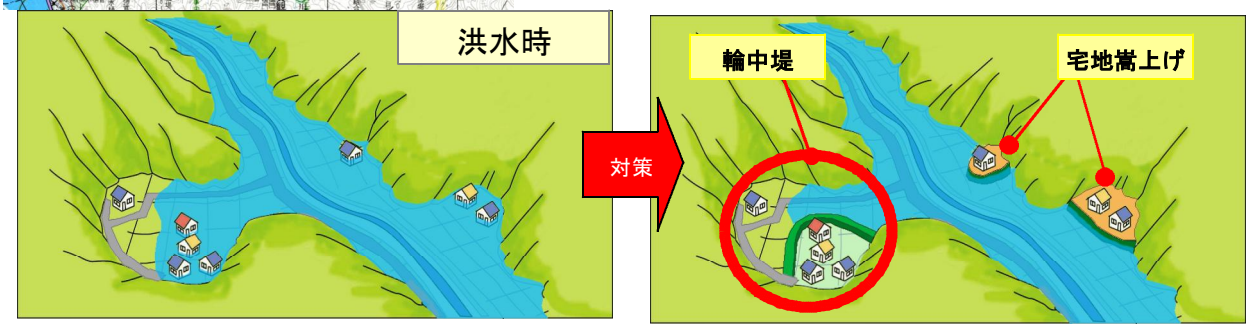












平成21年度事業費及び事業内容

○事業費：約1，170百万円
○平成21年度は番台地区等における輪中堤整備や家屋・用地補償等を実施します。

事　業　効　果

○輪中堤等を整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。